

◎栽培履歴の記帳を必ず行いましょう。

令和6年産

大豆栽培こよみ

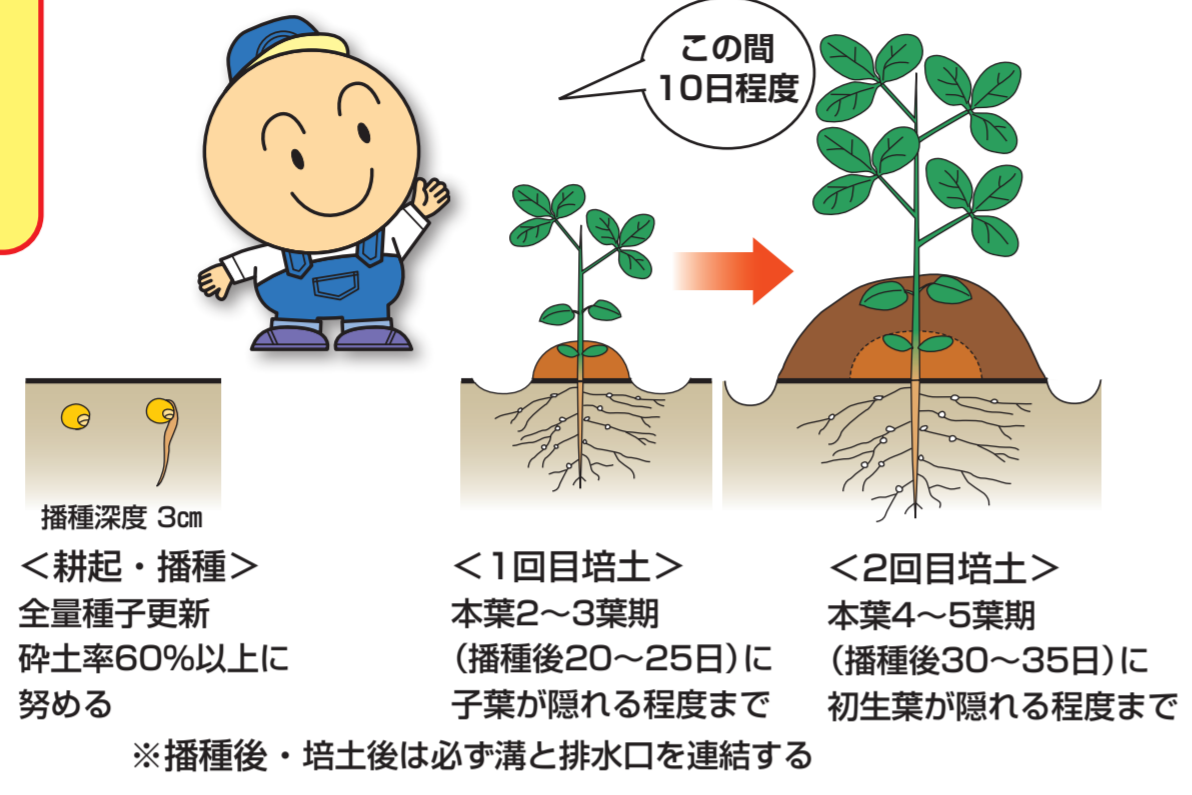
- 射水市農業技術者協議会
- 射水市
- JAいみず野
- 富山県高岡農林振興センター

目標

単収：200kg以上/10a
1～3等比率：80%以上
大粒比率：80%以上

重点ポイント

1. 排水対策の徹底
2. 地力に応じた基肥施用



＜大豆を加害する害虫類＞

若齢幼虫による白変葉被害

ハスモンヨトウ

ホソヘリカメムシ

カメムシ類の吸汁被害

※発生状況により随時防除(右下表参照)

＜収穫時期の判定の目安＞

莢色

黄緑 黄 黄褐 褐色

豆の状態

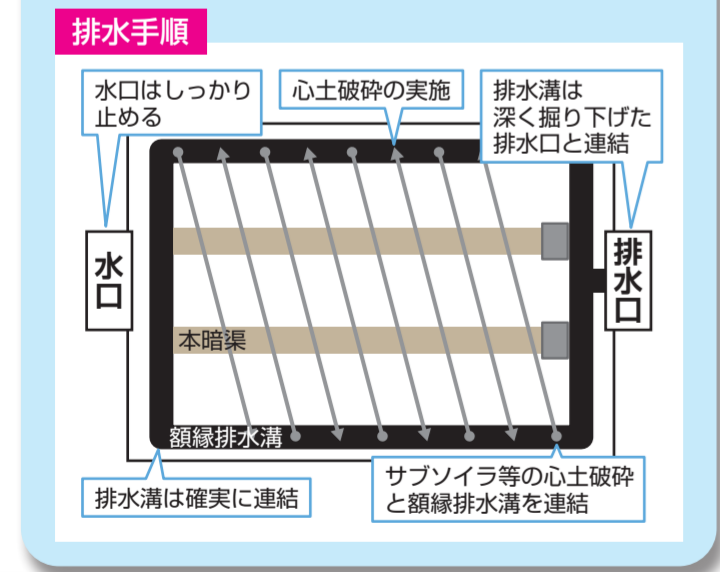
◆莢色が褐色になれば成熟期
◆高水分粒が殆どなくなり9割以上の莢が褐色になれば収穫可能

＜黒根腐病が発生している圃場の対策＞
(1) 排水対策の徹底
(2) 播種時期は6月1日以降とする
(早い播種は発生を助長)

月	4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月								
	下旬	中旬	月上旬	下旬	中旬	月上旬	下旬	中旬	月上旬	下旬	中旬	月上旬	下旬	中旬	月上旬	下旬	中旬	月上旬	下旬	中旬							
生育ステージ	発芽			生育期						開花期			莢伸長期			子実肥大期			黄葉期			落葉期			成熟期		
主な作業	排水対策			土づくり			1回目培土			2回目培土			畦間かん水			1回目防除			2回目防除			収穫					

《排水対策》

- 前年秋又は遅くとも4月までに額縁及び基幹排水溝設置
- 心土破砕等で透水性向上



《播種作業》

- 消毒(クルーザーMAXX) 済種子を使用
- 対象害虫 茎疫病、フタスジヒメハムシ、アブラムシ類、タネバエ、ネキリムシ類

◆品種別、播種時期別の栽植本数及び播種量の目安

品 種	播 種 時 期	栽 植 本 数 (本/10a)	播 種 量 の 目 安 (kg/10a)	使 用 目 皿
エンレイ	5月26日～6月上旬	14,000～16,000	5.2～5.9	B-22
	6月中旬	16,000～18,000	5.9～6.7	B-22
シュウレイ	6月上旬	12,000～15,000	4.8～6.0	B-33
	6月中旬	15,000～18,000	6.0～7.1	B-33

《土づくり》

- 土壌pH6.0～6.5に矯正
- 石灰質資材 100kg以上
- 有機物の積極的施用
- 発酵ケイフン 100～150kg
- ヘアリーベッチの利用

※青立ち株が多発する場合は2～3割減肥する。
※発酵ケイフンを施用した圃場は1～2割減肥する。

項 目	資材名	10a当り施用量
基肥	BB基肥084	単作 30kg 麦あと 40kg
	LPS大豆専用	単作 25kg 麦あと 30kg

《膨軟な(碎土率が高い)作土にするためのポイント》

- 初穀や緑肥のすきこみ
- 耕起～播種の一連作業は、土壌の乾いた日に1日で行う。
- 碎土率が低くなりかねない圃場は、トラクターの車速は低速、ロータリーは高速で耕起する。

※エンレイで青立ち株が多発する場合は、6月1日以降に播種するとともに苗立本数を多く確保する。
※大粒の百粒重：エンレイ33.4g、シュウレイ35.7gとして算出。

《雑草対策》

- 播種後速やかに散布する
- 大豆は露出しないよう覆土する

播種後出芽前	薬 剤 名	10a当り散布量
	プロールプラス乳剤	400～600ml + 水100ℓ
	ラクサー乳剤	4～8kg
	ラクサー粒剤	4～8kg

《イヌホオズキ類の防除体系》

大豆の生育	播種	2葉期	3葉期	4葉期	5葉期
作業日目安	6/1	6/20	6/25	7/1	7/6
防除作業	ラクサー、70-ロールアス	1回目培土	ロックス	2回目培土	バスタ又はザクサ

雑草の種類	使用 方法	薬 剤 名	10a当り散布量	注 意
1年生イネ科雑草 (スズメノカタビラを除く)	全面散布	ボルトフロアブル	200～300ml + 水100ℓ	・散布は2回まで ・イネ科雑草3～10葉期まで ・収穫30日前まで
1年生雑草 (イネ科を除く)	全面散布	大豆バサグラン液剤	100～150ml + 水100ℓ	・散布は1回のみ ・大豆2葉期～開花前まで ・収穫45日前まで
イヌホオズキ類	株間・畦間散布	ロックス	100～200g + 水100ℓ	・大豆3葉期～収穫30日前まで ・散布は1回のみ ・畦間散布(大豆にはかけない) ・株間処理(大豆の葉にはかけない)
1年生雑草 雑草全般 (帰化アサガオ類等含む)	株間・畦間散布	ザクサ液剤 バスタ液剤	500ml + 水100ℓ	・収穫28日前まで3回以内 ・畦間散布(大豆にはかけない) ・株間処理(大豆の葉にはかけない) (バスタのみ本葉5葉期以降) ・ザクサ、バスタの総使用回数は高割合合わせて3回以内

《畦間かん水》

- 晴天が3日以上続く場合、かん水する(青立ち防止)。
- 圃場全体に水が行き届いたら水口を止め、速やかに排水する。



《収 穫》

- 9割以上の莢が褐色になったら刈り始め、適期内に刈り終える。
- 刈取前に雑草や青立ち株を除去する。
- 露がなくなってから刈り取る。
- 刈取高さは地際から10cm以上で行う。

《病害虫対策》

◆基本防除

防除時期	液 剤 体 系			空 散		
	薬 剤 名	希釈倍率	10a当り散布量	薬 剤 名	希釈倍率	10a当り散布量
7月下旬まで	Zボルドー [葉焼病]	500倍	150ℓ	-	-	-
1回目防除	ダントツフロアブル [カメムシ類・アブラムシ類] (収穫7日前まで)	2,500倍	150ℓ	ダントツフロアブル [カメムシ類・アブラムシ類] (収穫7日前まで)	24倍	0.8ℓ
	ブランダム乳剤25 [紫斑病] (収穫7日前まで)	3,000～5,000倍	150ℓ	ブランダム乳剤25 [紫斑病] (収穫7日前まで)	16～24倍	0.8ℓ
2回目防除	(※)トレボン乳剤 [カメムシ類] (収穫14日前まで)	1,000倍	150ℓ	(※)アミスタートレボンSE [紫斑病・カメムシ類・ハスモンヨトウ] (収穫21日前まで)	8倍	0.8ℓ
	アミスター20フロアブル [紫斑病] (収穫7日前まで)	2,000倍	150ℓ			

◆随時防除

病害虫の種類	薬 剤 名	希 釈 倍 率	10a当り散布量
茎 疫 病	フェスティバルC水和剤 (収穫7日前まで)	600倍	150～300ℓ
葉 焼 病 (エンレイ)	Zボルドー	500倍	150ℓ
ウコンノメイガ、マメシクイガ、ハスモンヨトウ	プレバソフロアブル5 (収穫7日前まで)	4,000倍	100～300ℓ
ウコンノメイガ、マメシクイガ、アブラムシ類、フタスジヒメハムシ、カメムシ類	ダントツ粉剤DL (収穫7日前まで)	-	3～4kg (ウコンシクイガの場合は4kg)
ハスモンヨトウ、マメシクイガ等	(※)トレボン粉剤DL (収穫14日前まで)	-	4kg
	(※)トレボン乳剤 (収穫14日前まで)	1,000倍	150ℓ

(※)トレボンの使用回数は2回以内

《土づくり》

・次年度大豆作付予定圃場はヘアリーベッチを作付しましょう。

排水性も向上!